

写真や動画を使って効果的にプレゼンテーションする

<期待される効果>

【児童・生徒】○写真や動画を撮影することで、実際にその場所に行けなかった人にも情報の共有ができる。

【教師】○写真や動画の撮影を宿題にすることで保護者の協力も加わるなど、学びに深まりがでる。

<学習場面>

個人の考えを整理

全体に向けて発表



<機能・ツール>

【撮影】カメラ

【共有】

M365：Teamsファイル
(word、Excel、PowerPoint)

Google：Googleドライブ
(ドキュメント、スライド、
スプレッドシート)

ロイロ：提出箱、資料箱

ミライ：オクリンク

<モデル事例>

○各自が、地域の自慢できる所の写真や動画を撮る。

○スライドアプリを使って、撮ってきた写真や動画、コメントを
書いてまとめる。

○友達にプレゼンテーションを行う。

<ポイント>

○配布されたシートのレイアウトを自由に変えてもよいが、
“見やすさ”を重視するよう指導が必要。

○必ず紹介する項目を確認しておく。

<注意点>

○小学校低学年の児童・生徒はスライドアプリを
使いこなすまで時間がかかる。

○実態に応じて、写真や動画のみをスライドに張り付けるのも可



<ハッシュタグ>

#中級 #調べ学習 #撮影機能 #発表 #個別学習 #主体的 #思考力・判断力・表現力等 #ファイルの共有